

令和7年度 第2回 二宮町下水道運営審議会会議録

日 時 令和7年10月7日（火） 午後1時50分から午後3時20分
場 所 二宮町役場 第1会議室
出席者 大田博樹会長、平塚孝史委員、下野俊二委員、
今井恵子委員、松尾武保委員、土谷美智代委員
欠席者 村田耕一郎副会長、原美耶委員
事務局 都市部長、下水道課長、業務班長、業務班主査、業務班技師
傍聴者 なし

・開会

・会長あいさつ

・議題

（1）令和6年度二宮町下水道事業の決算状況について
事務局より資料1・資料2・資料3に基づき説明。

○委員

他会計補助金についてももう少し詳しく教えてください。

○事務局

一般会計から下水道企業会計への補助金で、下水道事業が担う雨水排水などは、広く住民の生活環境の保全に繋がるので住民のみなさんからの税金で賄うことになっています。

○委員

有収率が下がっている原因は何ですか。

○事務局

不明水と言われる、雨水や地下水などが下水道管の隙間から入り水の量が増えたのが原因だと考えられます。昨年度、葛川が溢水した影響もあり、有収率が下がった結果になっています。

○委員

今年度の純利益とあるが、補助金をもらって利益が出るというのはどういうことですか。

○事務局

他会計補助金は、総務省の方で示されている繰り出し基準というものがあり、こちらに基づいて、繰り入れをした上で利益が出たものになります。

○委員

出資金と補助金の違いは何ですか。

○事務局

一般会計から繰入金で、目的、内容が違います。

下水道事業債、借入金の元金部分に対する町の一般会計からの繰入金が出資金。
それ以外の部分で建設改良費といわゆる工事費や委託料などに充てているのが補助金。

○委員

この資料を開示する目的は、何ですか。

もし、町民の皆さんに、今の下水道事業の現状について知っていただいて料金について関心を持ってもらうとするとちょっと厳しい。誰に何を伝えたいのかわかりにくい内容だと思います。

○事務局

これは、議会に決算書を説明するときの補足資料なので、少し専門的な内容になっています。

○委員

一般の方がこの資料を見たとき、今後起こりうる下水道料金の値上げのときに、結構余っているというように、間違った見方になるのが怖いです。

○事務局

使用料の見直しを検討するときに、ご意見いただきながら、皆さんがわかりやすい資料を作っていきたいと思っています。

○委員

あんまり正確過ぎてしまうと誤解を招いてしまいます。円周率を 3.14 にするか 3 までするか。簡単にすればそういうことは事実から離れてしまいますし、四、五十桁まで入れたら正確ですけど、もっと大変だって話になってしまうので、難易度の高い資料だと思いました。

○委員

ものすごく難しい部分もありますが、4 ページにある不明水の説明が、一般の方には、亀裂が入っているの、穴あいているの、または陥没するのではという、その不安を煽る一文だと思うので、ここはもう少し詳しくするとよいと思います。

○委員

損益計算書だけでも十分通じると思います。受益者負担だけだと赤字ですが、補助金で賄っていることが経常利益のところになるので、キャッシュフローや貸借対照表で、料金をどうするのかっていう議論で必要ないし、もっと簡易版を作って、伝えたい人の興味関心を引くようにしないと読んでもらえないと思います。

○事務局

使ったお金、入ったお金、これだけの差があるから、こういう部分を補填しなきゃいけないという説明が一般の方にはわかりやすいですね。

こちらの資料は、決算のご報告ということの資料として、今回、説明させていただいたものになります。

(2)二宮町下水道事業経営戦略策定について
事務局より資料4に基づき説明。

○委員

61 ページの資本費平準化債ですが、令和 14 年からなくなるので一旦そこで投資が終わるということですか。

○事務局

資本費平準化債は、減価償却や長期前受戻入からの算出が今の段階だと令和 14 年度以降の発行は見込めないなので、記載していません。

○委員

減価償却がなくなるということは、償却済みだから、耐用年数を超えて使用し続けているということですか。

○事務局

資本費平準化債の発行可能額があり、企業債の元金残高や償還金と、減価償却費とのバランスで計算する算出になっていて、企業債を見込めなくなるということでこのように記載しています。

○委員

43 ページで物価高騰が 2%で、令和 10 年から 0.5%に下げたのは、その分その費用が下がる見込みですか。

○事務局

前回、令和 10 年から横ばいにしていたものを、ご指摘により、若干微増で修正させていただいています。

○委員

61 ページの資本の収入のところは、4 番の補助金と 2 番 3 番の他会計出資金の見積み方に差があるのでしょうか。

○事務局

国が示している一般会計の繰出金と言われるものに基づいて、元金の償還に充てる見込みを立てて、算定しました。

国補助金は、令和7年度以降の污水管の敷設がほとんど終わる予定ですので、これから雨水対策の方にシフトしていくようになります。大体、年間、7、8千万円ぐらい実施した場合と仮定して、その 2 分の 1 ぐらいを補助金の金額として記載しています。

○委員

国の補助金で、令和 11 年以降は整備が終わって、その後に決まっているものを算出しているとのことですが、その前の令和6年から令和 10 年までがとても変動しているので、急にここから先はこのようになるのでしょうか。

○事務局

来年度と令和 10 年度に、大きな雨水対策工事を見込んでいて、それを反映させて計上しています。

○事務局

ある程度具体的な事業が見えている費用に対する補助金なので、波が出ています。11 年度以降は、あくまで想定段階なので一定の額を入れています。

○委員

こういう事業があると言ったら、ちゃんと補助金がおりてくるんですか。

○事務局

国の予算の配分によるところがあるので、その通り入ってくるとは言い切れません。補助金が減って、企業債とかが増えるかもしれません。

○委員

今後、企業債もある程度のところから同じ金額になるということですか。

○事務局

令和 13 年度以降は、予測が難しいです。

○委員

細かな数字で提示しないところは、米印などでここから先は見込みとか、ここからの数字は変更なしなどにしたほうが、一般の人が目にしたときによいと思います。

○委員

決まっている計画を反映させたものと入れるとよいです。

○委員

令和10年度から値上げすることは決まっているのですか。

○事務局

値上げすることは決まっています。この下水道運営審議会で、どういうふうな改定にしていくのかを議論していただきます。

3つの案を出していますが、現行のままとすることも十分あり得えます。

○委員

回収率が下がってきていても、見直さなくてもどこからかお金が入ってくるのか、ある一定のラインを切ったら、破産のような状態になるのか、それによって審議会で検討していく

中で、値上げは避けられないと考えなければいけないのか、それとも、回収率が下がっても、公共だからたいしたことはないのか。

○事務局

国交省から、100%まで向上させる計画を作成するように要請されており、上げないならそれなりの理由も必要になってきます。

ペナルティもありまして、経費回収率が80%未満の場合、下水道事業の改修工事に充てる国の補助金の率が低くなってしまう可能性があるので、全国の市町村で使用料を改定していかなければならない状況になっています。

○委員

それは、町民の皆さんに値上げをするときに、ここまでこう上げないと、国からの補助金が低くなり、さらに悪化しますよっていうことを、値上げを必要とする理由として、そのことはアナウンスできますか。

○委員

渋々上げる話をして、そもそも物価高になっているにも関わらず、公共料金が上がらないというのもおかしいですし、そもそも二宮町独自の税制をつくれないう以上、収入が決まっているので、何かをカットするしかないですよ。小学校の投資をやめるとかですね。

○委員

町民に向けた、子供でもわかる下水道の仕組みや、このように成り立っているから、みんなの生活を守るため、今後下水道維持が必要だという冊子があるとよいです。

わかりやすくみんなが納得して、値上げに行こうみたいな方がよいです。

上水道も上がりますよね。

○委員

今年の10月以降にも上がります。

○事務局

今のところ10年後の経費回収率が82%で、80%まで猶予があるので、いきなり使用料単価を150円まで上げるのか、段階的に上げていくのかということも含めて検討をお願いしたいと思います。

○委員

公共料金だけ上がらないのもおかしいですよ。

上げるかどうかは今後の議論なのですが、わかりやすい資料を作っていくのは大切かもしれないです。

○事務局

いずれにしても5年ごとに見直しが必要なので、このロードマップの通り、一旦は検討していただくことになります。

○委員

上水に比べると下水は、身近じゃないというか生活に必要な上水ほどフォーカスされない気がして、それに対しての値上げも、なかなかピンとこない。

先日の埼玉県八潮市の陥没事故のようになると、下水って大切だと思うんですけど、普段の生活にあまり身近には感じない。みなさんの生活に必要ですというのがわかると思います。

○委員

昔の汚い川の状態を知らなくて、当たり前のように流れていて、下水に対してお金をかけている感覚がない。それで上下水道の金額、上水は言わなくても、下水が高いって言う声があります。みんなで支えないと大変なことになるということを言っておかないといけないと思います。

○委員

下水を処理するのに費用がかかることを伝えていかないといけないと思います。

○委員

ごみも捨てるのにお金を払うようになって、下水もお金取られるのは当たり前ですし、何年か前の感覚を新しいものにしてもらえるとよいと思います。

○事務局

少し前までは、川の水質が徐々に綺麗で良くなっているのが数字でも見た目も顕著でした。

それが、今当たり前になっているので、維持するために必要なことをうまくPRしていかないと、なかなかご理解いただけないかなと思います。

○委員

ロードマップ上での2年後に下水道だけ上げるのではなく、ここでゴミ処理費用もあげますので、負担は多くなりますが、全体として上がっているから、これも上げさせてくださいのほうが多いのではないかと思います。

○事務局

そのほうが、理由ははっきりしていると思います。

○委員

下水の大切さを知るって機会がないと、下水に対する意識をもう少し、上水と同じように考えてもらえればいいと思います。

(3) その他

- ・事務局より経営戦略のパブリックコメントについての説明
- ・事務局より今年度の二宮町下水道運営審議会開催時期について説明

・閉会